

日本共産党

仕事とくらしと
命を守る政治を

京都市会議員

ひぐち

樋

口

市会

集团的自衛権
消費税増税
許しません

英明
ひであき

ひぐち英明

検索



生活相談地域

久多、広河原、花背、鞍馬、大原、八瀬、静市、岩倉、
上高野、山端、修学院、一乗寺(修二を除く)

ごあいさつ

建設の労働組合（京建労）で働いていた時、アスベストによる犠牲者を目の当たりにするなど、大企業が儲けのために人を死に追いやることに激しい怒りを感じました。その原因をつくった政治を変えようと、運動に取り組み組合の仲間と過ごした時間は、今でも私の宝です。

市会議員として3期12年。市民の仕事・くらし・命を守る市政実現に全力を尽くしてきました。国と同様に、市民への痛みの押し付けばかり進める京都市政を転換するために引き続きがんばります。

2003年 三宅誠孝さんの後を受けて京都市会議員に初当選。以来3期、みなさんの声を議会に届けてきました。



一男二女の父。一乗寺保育所、上高野学童保育の保護者会長もつとめ、議員になる前から子どもの医療費無料化を求めて運動してきました。



早くから平和問題に関心を持ち、高校時代に米軍基地調査に参加。原水協左京事務局長として核兵器廃絶運動に携わり、平和行進は毎年参加。

集団的自衛権行使は許さないと決意を新たにしています。

1969年 群馬県前橋市生まれ。中学から大学まで、バスケ、水球、水泳とスポーツで鍛え、大学では体育会委員長も。



ひぐち英明 奮闘記

1989年 京都の古建築にあこがれ、京都工芸繊維大学に入学。大学院では日本建築史を専攻。社会のゆがみを正したいと日本共産党に入党。

1995年 全京都建築労働組合（京建労）の職員に。深刻な不況の中、職人さん達の仕事とくらしを守る運動に力をつくす。

行政



台風や大雨の被害ではすぐに現場に駆けつけ、対策を提案。



プロフィール：1969年生、45歳。京都工芸繊維大学大学院修了。全京都建築労働組合職員を経て、市会議員3期（現予決算特別委員会副委員長）。工織大体育会委員長、左京区保育園保護者会連合会副会長、上高野学童保護者会長、原水爆禁止左京協議会事務局長などを歴任。家族は妻、一男二女。

ひぐち英明 活動プラン

- 京都市でも中学卒業まで子どもの医療費を無料化します。
- 認可保育所の増設で待機児童をなくします。
- 先生を増やし、少人数学級で教育の質を高めます。

子育て世代の
目代表として
みなさんとともに

- 全国的に大きな経済効果をあげている住宅リフォーム助成制度を京都市でも作ります。
- 賃金や下請け単価を改善する公契約条例を作ります。
- 消費税増税中止を求めるとりくみを強めます。

中小企業活性化が
私のライフワーク

- 8億円の北泉橋など、ムダ使いをやめさせ、福祉や生活関連予

ムダ遣いを
4 あらためさせ、
くらし支援へ

- 地域巡回バスや市バス均一区間の拡大など、市民の足の確保に取り組みます。
- 岩倉出張所は廃止でなく機能強化をはかります。
- 獣害対策を強化します。
- 豪雨対策と急傾斜地の防災対策をすすめます。
- 花背トンネルの実現に向けて力を尽くします。

身近で役立つ
議員として住みよい
左京づくりを

- 集団的自衛権行使を許さず、憲法九条を守り、いかします。

戦争する国づくりは
許しません

- 原発再稼働を許さず、廃炉をもとめます。
- 太陽光、小水力、風力、森林バイオマスなど、再生可能エネルギーの普及促進をはかります。

原発ゼロと
再生可能エネルギー
の普及を

- 算にまわします。
- 無料で乗れる敬老乗車証を守ります。
- 国保料を1万円以上引き下げます。

知識生かし、まちづくりをリード

学生時代に学んだ日本建築や生活に根ざしたまちづくりが議員活動で力を発揮。まちこわしや「のっぽビル」から景観と住環境を守るため、専門知識をいかした調査や住民参加の提案など、党議員団の要となって新景観政策に高さ規制を盛り込ませました。葬儀場や中高層マンション建設に地元の意見を反映させるよう求め、葬祭場建設指導要綱や中高層条例が創設・改善されました。地震への備えでは、耐震改修助成制度や、橋の耐震化予算を実現。増える集中豪雨の対策にも奔走。災害に強いまちづくりでもひぐちさんの出番です。

仕事、くらし、いのちを守れ!

耐震リフォーム助成制度は、地元業者の仕事確保につながっています。さらに住宅リフォーム助成制度を京都でもと、中小業者のみなさんと一緒にとり組み、市議会で京都市にこの制度の経済効果を認めさせました。

子どもの医療費助成は、ねばり強い運動の中、通院は小学校卒業まで上限額月3000円となりました。学童保育の新增設も繰り返し運動し求める中で入所枠が拡大。明德児童館が新設されました。

どこに住んでいても 安心して住み続けられる左京に

市原以北の方から要望のあった敬老乗車証が、市バスと民間バスに関係なく使えるようになりました。久多では地域バスが実現、市原では京都バスの新路線ができました。修学院・上一乗寺の地域バスの要求実現にも地元のみなさんと一緒に取り組んできました。

大原は市内で唯一、地元の簡易水道組合で水を確保してきましたが、地元の強い願いを受けて、簡易水道は京都市へ移管・改修されました。花背以北でも、緊急時の命綱ともなる携帯電話のアンテナ整備や、簡易水道、地デジ対策が実現しました。

3期12年
市民の声から出発し、
市政を動かす



子育て中のお母さんから聞き取り



本会議で質問



住民と一緒に京都市に申し入れ

いつまでも住み続けたい

左京区の街づくりは、身近で日常生活がおくれるように

左京区民の2000人近いアンケートを生かした—左京まちづくりプラン(案)—

ご意見をお寄せ下さい。

医療や介護

高齢になっても、認知症になっても暮らし続けられるように

- ▶ 高齢者の居場所づくりや認知症カフェなど地域の自主的な取り組みが、地域全体に広がるよう支援します。
- ▶ 中学校区単位（日常生活圏域）に、公的なソーシャルコーディネーターを配置し、包括支援センターや社協、地域の役員の方および行政機関との連携で、情報共有、高齢者の見守り・支援機能を高めます。
- ▶ 敬老乗車証の堅持はもちろん、循環バスやオンデマンドタクシーなど移動の権利を守ります。

防災・災害対策

花折断層・大雨災害からいのちを守る

- ▶ 被害の総点検と河川の浚渫や崩落対策などを急ぎます。
- ▶ 花折断層がある左京区で、また連続する大雨被害のもと、学区ごと、町内ごとの防災計画作成が急がれます。消防職員の増員により、きめ細かい実情にあった計画を住民と共同して作成します。



お店・中小企業応援

景気を良くするため、いますぐできることがあります!

- ▶ 学校や公共機関の工事や物品購入は、地元業者に発注します。
- ▶ 真金の引き上げを盛り込んだ公契約条例を制定します。
- ▶ 住宅リフォーム助成制度などで地元業者の仕事を増やします。

行政の役割

区民の財産、区民のために

- ▶ 健康保険の手続きなどを、出前・出張・巡回で行うようにします。
- ▶ 商店・小売店・地域経済担当の配置、リフォーム増改築相談員の配置など、相談・連携業務を強化します。
- ▶ 左京区独自の予算を2億円に増やし、独自のまちづくりを住民主体ですすめます。
- ▶ 「区民協議会」を設置し、課題や今後の方向について、住民本位で決めていきます。
- ▶ 公有地の利活用にあたっては、「まちづくり協議会」に報告・照会します。

筋を通す 日本共産党とともに 政治を変えよう!

⇒ 国政でも府市政でも、自民党政治に対決。

「戦争する国づくり」へまっしぐらの安倍内閣の暴走にストップをかけ、9条生かす政治へ大きく舵を切る転換を、国・府・市政あげて、市民と団結してすすめます。いのちを守る一災害対策、社会保障、住民の安全を“京プラン”「構造改革」の名で切り捨て、自治体の役割を投げ捨てる自民、公明、民主、京都、維新による政治でなく、住民のいのちと暮らしを守る防波堤＝自治体としての府・市政をとりもどすため奮闘します。



⇒ 「住民が主人公」、京都の良さを守り生かします。



東山 36 峰に鉄塔なし。北山・東山山麓の治山治水に駆け回る共産党議員あり。京都に似合わないゴルフ場建設、半鐘山も開発をストップさせてきました。住宅地でのパチンコ店進出にも住民の皆さんとともに立ち上がってきました。岡崎、北山通りの環境破壊に反対し、環境、街並み保全、京都の良さ生かすため全力を尽くします。

⇒ 草の根で市民とともに政治を動かす。

左京区でも、地域・職場・大学に100 近くの支部（グループ）、学区によっては4つの支部を持ち、草の根で住民、働く人々、学生と接し、結びついています。

要求、苦難あるところに共産党あり、住民とともに政治を動かす日本共産党です。



ひぐちさん、引き続きがんばってや



平山 幸雄さん
京建労左京支部長（大原在住）

建設業界では、人手不足が深刻化し、若手の入職が進むよう設計労務単価が2年連続で引き上げられました。しかし、現場の建設従事者の賃金・単価にはまだ反映されていません。

公契約条例や住宅リフォーム助成制度の創設を議会で求めるなど、京建労出身のひぐち市議には、地域経済が活性化するように、頑張ってもらっています。引き続きの活躍を期待しています。



和田 茂雄さん
和田獣医療科病院院長（栗寺樋ノ口町）

人間の医療費には消費税はかかりませんが、動物医療費には消費税がかかっています。今回の消費税増税で確実に来院数がへっています。「お金がないので予防注射は今年は見合わせます」という連絡が増えています。これで来年10%になるとより深刻になります。

樋口さんががんばっていただいで京都市議会でも反対決議を上げてもらいたいです。



村田 茂樹さん
画家（右衛門在住）

活動報告紙「こんにちにはひぐち英明です」も、この8月で256号です。

市会の報告、ひぐち君の子どもさん達の成長と共に、左京区の災害地域や危険地域に駆け付け、隈なく調査し、そして、解決していく樋口君を頼もしく見てきました。市議員として12年、円熟期に入り、ますます左京区のために頑張ってもらいたいと願い、大いに期待しています。

永井 未希子さん

前上高野学区保護者会長（上高野在住）

気さくで穏やかでお酒好き。飲むと陽気になってよく喋ります。人柄も良く頼りになる人なので、学童でも2年連続で保護者会の会長をしてくれました。

樋口さんには、中学生までの子ども医療費の無料化、非正規雇用の給与の安定、福利厚生充実などを実現してもらえよう、期待しています。